

2019年10月11日

各位

会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン
 代表者名 代表取締役社長 松井 健二
 (コード: 4929 東証第1部)
 問合せ先 取締役管理本部本部長 中川 秀男
 (TEL 078-351-3136)

第2四半期(累計)連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年4月19日に公表した2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2019年3月21日~2019年9月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年4月19日発表)	百万円 2,715	百万円 7	百万円 31	百万円 △7	円 銭 △0.93
今回修正予想(B)	2,205	△250	△229	△204	△25.74
増減額(B-A)	△510	△257	△261	△197	—
増減率(%)	△18.8	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	2,599	162	178	103	13.00

2. 修正の理由

スキンケア商品の売上高は、「AEシリーズ」を9月にリニューアルした「All Enrich(オールエンリッチ)」が、概ね計画通りに推移しておりますが、当期よりスタートした新キャンペーン制度の浸透に時間を要したことと、変更前制度の前期末駆け込み需要の影響により、予想を下回る見込みとなりました。

ヘアケア商品の売上高は、上記キャンペーン制度の変更等の影響に加えて、前期リリースした新商品の販売が想定よりも伸び悩んだ結果、予想を下回る見込みとなりました。

以上の結果、当第2四半期の売上高は、前回予想を下回る見込みとなりました。

利益面では、研究員の増員、営業人員の増強のための新卒採用、社員教育制度の一新やサロンアンサーシステム導入サロンの拡充、リニューアル商品のプロモーション等、成長のための基盤づくりを進めておりますが、売上未達による売上総利益の減少の影響により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、現在精査中でありますので、業績予想の修正が必要とされる場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上